

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社アイフリークモバイル 上場取引所 東  
コード番号 3845 URL https://www.i-freek.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 邦臣  
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 三宅 公崇 TEL 03-6274-8901  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,262	1.2	△52	—	△40	—	△40	—
2023年3月期第2四半期	1,247	△4.0	34	△52.7	64	△52.6	63	△52.2

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 △40百万円（—％） 2023年3月期第2四半期 63百万円（△52.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△2.29	—
2023年3月期第2四半期	3.57	3.56

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,284	733	56.5
2023年3月期	1,195	826	68.6

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 725百万円 2023年3月期 820百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2024年3月期の配当予想については未定としております。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,931	12.5	92	8.9	86	△42.5	82	△44.4	4.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
第2四半期累計期間の業績予想については、業績管理を年次のみで行っているため、記載を省略しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名） 株式会社I-FREEK GAMES

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	17,839,641株	2023年3月期	17,839,641株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	17,839,641株	2023年3月期2Q	17,839,641株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9
(収益認識関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことに伴い、社会経済活動の正常化とともにサービス消費やインバウンド需要が増加し、緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の上昇やエネルギー価格の高騰に伴う物価上昇のほか、金融資本市場の変動等が企業の経営成績にマイナス影響を及ぼす可能性を注視すべき状況は継続しております。

このような状況のもと、経営体制の強化及び当社グループの持続的な成長と更なる企業価値の向上を目指すため、2023年7月1日より代表取締役を2代表制へ移行するとともに、代表取締役社長を吉田邦臣とする新陣営とした上で、軸となるコンテンツ事業とコンテンツクリエイターサービス(CCS)事業の二つの事業活動の推進に努めてまいりました。売上高については、当第1四半期から実施されているエステーエーグループからの事業一部譲受け等の影響により前年同四半期比で増収となったものの、コンテンツクリエイターサービス(CCS)事業における従業員を対象とした給与水準の引き上げ(ベースアップ)、及びコンテンツ事業におけるサービス改修費用等の影響により、利益については前年同四半期比で減益となっております。

この結果、当第2四半期連結結果計期間の経営成績は、売上高1,262,227千円(前年同四半期比1.2%増)、営業損失52,428千円(前年同四半期は34,380千円の営業利益)、経常損失40,606千円(前年同四半期は64,477千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失40,930千円(前年同四半期は63,694千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <コンテンツ事業>

コンテンツ事業では、デジタル絵本アプリでの新作配信及び知育アプリにおける施策に注力いたしました。デジタル絵本に関しては、吉本興業所属の人気芸人制作の絵本2作品を「森のえほん館」で配信し、知育アプリ「九九のトライ」では、当社グループがサポーターカンパニーを務めるJ2リーグサッカー клуб「ジュビロ磐田」のマスコットキャラクター「ジュビロくん」と「ジュビィちゃん」の5つの秘密をゲットできるコラボコンテンツを配信いたしました。

また、メタバースをはじめとするVR、AR及びMR技術を包括する「XR領域」をより身近に感じていただくための取組みとして、NFT/XRクリエイターOmayu氏と、当社グループが運営するクリエイター育成支援プラットフォーム「CREPOS」がコラボしたアバターの無料配信を実施いたしました。

これらの結果、コンテンツ事業の売上高は106,092千円(前年同四半期比21.8%減)、セグメント損失は21,256千円(前年同四半期は7,875千円のセグメント利益)となりました。

#### <コンテンツクリエイターサービス(CCS)事業>

コンテンツクリエイターサービス事業につきましては、国際的な情勢不安の長期化、エネルギー価格の高騰による物価上昇及び金融資本市場の変動等も相まって先行き不透明な状況が続いておりますが、コロナ禍によるDX化の推進等により受注状態は引き続き好調であることから、稼働率は比較的高い水準で推移いたしました。一方で、当社グループが将来において優秀な人材を確保するための施策の一環として、CCS事業の従業員を対象として、給与水準の引き上げ(ベースアップ)を行った結果、人件費が増加しておりますが、同事業における営業体制の連携の強化等を実施することで効率的な事業運営に努めております。

さらに、当社グループとかねてより取引関係にあり、ゲーム関連のソフトウェア開発業務に精通したスタッフを豊富に抱え、安定的なサービス提供を行っているスマートテックグループと当社子会社である株式会社I-FREEK GAMESとの間で、同グループの事業の一部を譲り受ける旨の事業譲渡契約書を2023年8月31日に締結いたしました。

これらの結果、CCS事業の売上高は1,156,135千円(前年同四半期比4.0%増)、セグメント利益は107,425千円(前年同四半期比30.6%減)となりました。

(注) 製品名及びサービス名は商標又は登録商標です。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて52,301千円(4.6%)増加し、1,186,970千円となりました。これは主として、売掛金が26,986千円、未収還付法人税等が7,398千円減少する一方、現金及び預金が57,989千円、仕掛品が2,799千円、前払費用が26,276千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて37,513千円(62.0%)増加し、97,999千円となりました。これは主として、有形固定資産が15,146千円、無形固定資産が14,913千円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ89,814千円(7.5%)増加し、1,284,969千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて66,306千円(23.0%)増加し、354,847千円となりました。これは主として、買掛金が6,173千円、未払法人税等が4,024千円減少する一方、1年内返済予定の長期借入金が19,991千円、未払費用が26,873千円、預り金が25,130千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて116,600千円(145.1%)増加し、196,948千円となりました。これは主として、長期借入金が113,329千円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて182,906千円(49.6%)増加し、551,796千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて93,091千円(11.3%)減少し、733,173千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失40,930千円の計上及び配当金の支払により53,518千円減少したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて57,989千円増加し、734,432千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、12,356千円(前年同四半期は105,746千円の獲得)となりました。これは主として、前払費用の増加額26,775千円により資金が減少した一方で、売上債権の減少額26,986千円、未払費用の増加額26,873千円、預り金の増加額25,130千円により資金が増加したことによるものであります。

## (投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、34,765千円(前年同四半期は4,341千円の獲得)となりました。これは主として、貸付金の回収による収入5,895千円により資金が増加した一方で、事業譲受による支出23,272千円、有形固定資産の取得による支出10,468千円により資産が減少したことによるものであります。

## (財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、80,397千円(前年同四半期は70,564千円の使用)となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出16,680千円、配当金の支払額52,808千円により資金が減少した一方で、長期借入による収入150,000千円により資金が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月13日に公表しました通期の業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	676,443	734,432
売掛金	410,693	383,706
仕掛品	421	3,221
前払費用	33,079	59,356
未収入金	4,730	6,423
未収還付法人税等	7,398	—
短期貸付金	11,791	11,791
その他	3,689	2,777
貸倒引当金	△13,579	△14,738
流動資産合計	1,134,668	1,186,970
固定資産		
有形固定資産	11,437	26,584
無形固定資産		
のれん	38,874	53,727
その他	1,285	1,346
無形固定資産合計	40,159	55,073
投資その他の資産	8,888	16,340
固定資産合計	60,485	97,999
資産合計	1,195,154	1,284,969
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	16,706	10,533
1年内返済予定の長期借入金	27,801	47,792
未払金	34,694	37,012
未払費用	141,812	168,686
未払法人税等	4,241	216
未払消費税等	28,673	30,544
預り金	34,203	59,333
その他	408	729
流動負債合計	288,541	354,847
固定負債		
長期借入金	77,139	190,468
資産除去債務	3,209	6,480
固定負債合計	80,348	196,948
負債合計	368,889	551,796
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	461,893	461,893
利益剰余金	348,385	253,935
株主資本合計	820,278	725,828
新株予約権	5,986	7,344
純資産合計	826,264	733,173
負債純資産合計	1,195,154	1,284,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,247,333	1,262,227
売上原価	882,122	930,217
売上総利益	365,210	332,009
販売費及び一般管理費	330,830	384,438
営業利益又は営業損失(△)	34,380	△52,428
営業外収益		
受取利息	385	253
業務受託料	1,610	530
助成金収入	27,913	733
受取保険料	—	4,900
貸倒引当金戻入額	—	4,913
その他	760	702
営業外収益合計	30,669	12,032
営業外費用		
支払利息	365	114
業務受託費用	193	95
その他	13	—
営業外費用合計	572	210
経常利益又は経常損失(△)	64,477	△40,606
特別損失		
固定資産除却損	—	107
特別損失合計	—	107
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	64,477	△40,714
法人税、住民税及び事業税	782	216
法人税等合計	782	216
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,694	△40,930
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	63,694	△40,930

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,694	△40,930
四半期包括利益	63,694	△40,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,694	△40,930



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	64,477	△40,714
減価償却費	1,217	1,953
のれん償却額	—	8,419
貸倒引当金戻入額	—	△4,913
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△752	△1,015
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,694	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,781	—
株式報酬費用	962	1,358
固定資産除却損	—	107
助成金収入	△27,913	△733
売上債権の増減額(△は増加)	52,712	26,986
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,705	△2,799
前払費用の増減額(△は増加)	7,714	△26,775
仕入債務の増減額(△は減少)	4,324	△6,173
預り金の増減額(△は減少)	2,293	25,130
未払金の増減額(△は減少)	△23,797	△1,703
未払費用の増減額(△は減少)	△2,356	26,873
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,039	1,871
その他	△4,735	△8,445
小計	63,004	△573
法人税等の支払額	△408	△175
助成金の受取額	27,913	733
保険金の受取額	—	4,900
法人税等の還付額	15,236	7,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,746	12,356
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,050	△10,468
無形固定資産の取得による支出	△1,548	△219
資産除去債務の履行による支出	△2,101	—
事業譲受による支出	—	△23,272
貸付金の回収による収入	5,895	5,895
敷金の差入による支出	—	△6,954
敷金及び保証金の回収による収入	4,761	—
その他	385	253
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,341	△34,765
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△16,680	△16,680
配当金の支払額	△53,518	△52,808
その他	△365	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,564	80,397
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	39,523	57,989
現金及び現金同等物の期首残高	635,310	676,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	674,833	734,432

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社I-FREEK GAMESを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、株式会社I-FREEK GAMESは当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	コンテンツ事業	コンテンツクリエイターサービス事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	135,623	1,111,709	1,247,333	—	1,247,333
外部顧客への売上高	135,623	1,111,709	1,247,333	—	1,247,333
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	135,623	1,111,709	1,247,333	—	1,247,333
セグメント利益	7,875	154,808	162,683	△128,303	34,380

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	コンテンツ事業	コンテンツクリエイターサービス事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	106,092	1,156,135	1,262,227	—	1,262,227
外部顧客への売上高	106,092	1,156,135	1,262,227	—	1,262,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	106,092	1,156,135	1,262,227	—	1,262,227
セグメント利益又は損失 (△)	△21,256	107,425	86,169	△138,597	△52,428

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

コンテンツクリエイターサービス事業において、事業譲受によるのれんを計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、23,272千円であります。

(企業結合等関係)

## 1. 共通支配下の取引等

当社は、2023年4月19日開催の取締役会において、子会社である株式会社I-FREEK GAMESを設立し、当該子会社に対して当社の事業の一部を譲渡することについて決議し、同年7月25日に同社と事業譲渡契約を締結し、同年8月1日に当該子会社に事業譲渡をいたしました。

## (1) 取引の概要

## ①対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業譲渡会社	株式会社アイフリークモバイル
事業譲受会社	株式会社I-FREEK GAMES
事業の内容	ゲーム関連事業

## ②事業譲受を行った主な理由

当社のゲーム関連事業が有するノウハウを結集したe-Sports関連サービス（イベントの企画、運営、配信、機材貸出、スタッフの派遣等）について、意思決定の迅速化及び機動的な企業運営を強化し、事業執行の確実性とスピード化を図るため、当該事業領域に特化した子会社である株式会社I-FREEK GAMESに当社ゲーム関連事業を譲渡いたしました。

## ③企業結合日

2023年8月1日

## ④企業結合の法的形式

株式会社アイフリークモバイルを譲渡会社、株式会社I-FREEK GAMES（当社の連結子会社）を譲受会社とする事業譲渡

## ⑤結合後の企業の名称

株式会社I-FREEK GAMES

## ⑥その他取引の概要に関する事項

意思決定の迅速化及び機動的な企業運営を強化し、事業執行の確実性とスピード化を図るものであります。

## (2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

## 2. 取得による企業結合

当社は、2023年4月19日開催の取締役会において、株式会社エスティエー、株式会社エスティエーゲインズ、株式会社エスティエープラス、株式会社エスティエーアスト、株式会社エスティエーリアタイズ、株式会社エスティエースペル、株式会社エスティエーフリント、株式会社エスティエークリーフ及び株式会社Vエスティエー（以下、これらを総称して「エスティエーグループ」という）から事業の一部を譲り受けることを決議し、同年6月30日付でエスティエーグループと株式会社I-FREEK GAMESとの間で事業譲渡契約書を締結し、同年7月1日から事業の譲り受けを開始し、同年9月15日に当該事業の譲り受けを完了いたしました。

## (1) 事業譲受の概要

## ①相手企業の名称及びその事業の内容

相手企業の名称	株式会社エスティエー 株式会社エスティエーゲインズ 株式会社エスティエープラス 株式会社エスティエーアスト 株式会社エスティエーリアタイズ 株式会社エスティエースペル 株式会社エスティエーフリント 株式会社エスティエークリーフ 株式会社Vエスティエー
事業の内容	S E S 事業

## ②事業譲受を行った主な理由

当社グループは、年齢や性別・国籍・身体的な壁を超えて、人と繋がることのできるエンターテインメントであるe-Sportsを新しい文化として発展させていくため、ゲーム関連事業が有するノウハウを結集した、e-Sports関連サービス（イベントの企画、運営、配信、機材貸出、スタッフの派遣等）等の提供に向けた体制構築を進めており、ゲーム関連のS E S業務に精通したスタッフを豊富に抱え、安定的なサービス提供を行っている実績をもつエスティエーグループと2023年6月30日に事業譲渡契約を締結いたしました。

## ③企業結合日

事業譲受け開始日	2023年7月1日
事業譲受け終了日	2023年9月15日

## ④企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

## ⑤結合後の企業の名称

株式会社I-FREEK GAMES

## ⑥取得した事業を決定するに至った根拠

現金を対価として事業を譲り受けたことによります。

## (2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2023年7月1日から2023年9月30日まで

## (3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	23,272千円
取得原価		23,272千円

## (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## ①発生したのれん

23,272千円

## ②発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

## ③償却方法及び償却期間

5年間で定期的に償却しております。

## (5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額ならびにその主な内訳

該当事項はありません。

## 3. 取得による企業結合

当社は、2023年8月25日開催の取締役会において、株式会社スマートテクノロジー、株式会社ヴァスダックインターバンクシステム、株式会社スマートテックモバイル、株式会社スマートテックエンタテイメント、株式会社スマートテックシンク、株式会社スマートテックリクリエ、株式会社スマートテッククロス、株式会社スマートテックセンス及び株式会社スマートテックデジタル（以下、これらを総称して「スマートテックグループ」という）の一部事業を当社グループが譲り受けることを決議し、同年8月31日付でスマートテックグループと当社子会社である株式会社I-FREEK GAMESとの間で事業譲渡契約を締結し、同年9月1日より同グループから事業の譲り受けを開始しております。

## (1) 事業譲受の概要

## ①相手企業の名称及びその事業の内容

相手企業の名称	株式会社スマートテクノロジー 株式会社ヴァスダックインターバンクシステム 株式会社スマートテックモバイル 株式会社スマートテックエンタテイメント 株式会社スマートテックシンク 株式会社スマートテックリクリエ 株式会社スマートテッククロス 株式会社スマートテックセンス 株式会社スマートテックデジタル
事業の内容	S E S 事業

## ②事業譲受を行った主な理由

当社グループは、年齢や性別・国籍・身体的な壁を超えて、人と繋がることのできるエンターテイメントであるe-Sportsを新しい文化として発展させていくため、ゲーム関連事業が有するノウハウを結集した、e-Sports関連サービス（イベントの企画、運営、配信、機材貸出、スタッフの派遣等）等の提供に向けた体制構築を進めており、ゲーム関連のS E S業務に精通したスタッフを豊富に抱え、安定的なサービス提供を行っている実績をもつスマートテックグループと2023年8月31日に事業譲渡契約を締結いたしました。

た。

③企業結合日

事業譲受け開始日 2023年9月1日  
事業譲受け終了日 2023年12月中（予定）

④企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

⑤結合後の企業の名称

株式会社I-FREEK GAMES

⑥取得した事業を決定するに至った根拠

現金を対価として事業を譲り受けたことによります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間  
2023年9月1日から2023年9月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	0千円
取得原価		0千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれん

0千円

②発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。

③償却方法及び償却期間

重要性が乏しいため、取得時に一括償却しております。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額ならびにその主な内訳  
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。